

# 江戸時代の 庶民教育



無料

通信料は自己負担  
となります

※画像はイメージです

幕末から明治維新の頃に日本を訪れた外国人は、多くの人々が読み書きができ、日常的に本を読む姿を見て日本を「文明度の高い国」と評価しました。その背景には、寺子屋などの学びの場が数多くあり、都市だけでなく農村にも教育が広がっていたことがあります。本講座では、こうした庶民の教育がいつ、どのようにして生まれたのか、また、どのような学びが行われていたのかを、わかりやすく紹介します。

- 日時** 令和8年 5月15日 (金) 14時～16時
- 会場** 茅ヶ崎市立図書館 第1会議室
- 講師** 立正大学文学部史学科 教授 石山 秀和 氏
- 定員** 40名(その他オンライン20名)【抽選】  
※抽選結果は申込者全員にメールでお知らせします。

申込み【抽選】



【締切】5月7日 木 12時  
※抽選結果はメールにて  
申込者全員にお知らせします。

茅ヶ崎市・立正大学 共催

お問合せ 茅ヶ崎市文化スポーツ部文化推進課

☎ 0467-81-7148 (直通)

市の講座はこちら↓



まなびスタートアップ!